

認知症初期集中支援推進事業について

福祉局高齢者施策部地域包括ケア推進課

令和4年度 第2回エリア別実務者会議について

内容

第1回エリア別実務者会議報告から 見えてきた課題

- ・コロナ禍によるネットワーク機能の低下
- ・複合課題の増加
- ・認知症の人と新しい生活様式
- ・区ごとの課題格差

第2回エリア別実務者会議

チーム員の課題対応力向上を目的として
第1回エリア別実務者会議から見えてきた課題を
テーマに症例報告会を実施
報告症例数 28ケース

報告症例 キーワード (複数選択あり)

支援拒否	複合課題	キーパーソン不在	金銭課題	新しい生活様式	区特有の課題
17	13	8	6	2	1

概要

- 好事例として報告されたものはすべて支援拒否ケースであり、チームが多職種との役割分担を適切に調整しているものが主となった。
- また、初期スクリーニングの有用性や、意思決定支援を丁寧に行ったもの等、事業特性を活かした症例も報告された。
- 課題共有としては、本人・家族の認知症の受け入れが進みにくいケースへの対応手法や、若年性認知症特有の課題対応、精神症状増悪への対応について報告があり、高度な支援スキルを求められる場面が増えていることがうかがわれた。
- 支援困難については、主に本人・家族の認知症の受け入れの困難性に対して他区へ助言を求める内容であった。

意見

- 今後の認知症サポート医の活用も含めて、その地域の医療機関がどのように認知症の診断、或いはフォローアップ等ができるのかを考える上で、かかりつけ医がオレンジチームに紹介する時はどのような場合であるのか分析も必要なのではないか。
- 地域の認知症サポート医であるとか、その専門医がどういうふうに関能しているのか、最近は何でもかんでもオレンジチームに相談する傾向が少し見られるように思う。
- なかなか介護保険に結びつけにくいケースもあり、チームオレンジサポーターなどは介護保険の縛りがなく、生活を支える部分では生かせる部分があると思うので、増えていくのが望ましいと思っている。

令和4年度 第2回エリア別実務者会議について

参考

報告症例一覧

分類	症例タイトル	ポイント
好事例	身近な人の言葉で納得されサービスに繋がった	親族以外の支援キーパーソンの発見と協働
好事例	ビタミン欠乏症を治療し、症状が改善したケース	地域医療による早期対応の有用性
好事例	家族間で意見の相違が見られたが、サービスに繋がったケース	チーム員による家族間の意向調整機能
好事例	支援拒否あり、かかりつけ病院との連携を図ったケース	多職種連携における支援方針統一の重要性
好事例	高齢の母と暮らす急激な進行がみられる若年性認知症の支援ケース	多職種連携における支援方針統一の重要性
好事例	受診や支援の必要性があるが、本人が困りごとを認識できず警察保護を繰り返す認知症高齢者	多職種連携における支援方針統一の重要性
好事例	同居家族への暴言暴力があり医療も途絶えていたケース	多職種協働におけるチーム員の認知症の人への意思決定支援の重要性
課題共有	本人を取り巻く家族問題と支援介入の検討	家族関係によりキーパーソンが定まらないケースの支援手法
課題共有	支援者からみた困り事はたくさんあるが、息子と話が出来ず、本人の認知症状が進んでいるケース	公的支援に非協力的な親族への対応
課題共有	病識が低く、家族課題がある際の金銭管理について	本人家族ともに病識が得られないケースの金銭課題
課題共有	レビー小体型認知症と診断受けるが、本人、家族が受容できていない方への支援	障がい受容が不十分な家族への支援
課題共有	B P S D（被害妄想）の急速な重篤化	行動心理症状の急性増悪へのチーム支援の重要性
課題共有	認知症発症をきっかけに夫婦喧嘩が頻繁に起こるようになったケース	高齢介護者の認知症理解困難と虐待 / 早期からの認知症啓発の必要性
課題共有	認知症があり、混乱が続くが支援拒否でサービス利用が難しかったケース	サービス拒否があり精神症状増悪となったケースへの対応方法
課題共有	認知症の診断がついたが訪問、支援を拒否しているケース	サービス拒否ケースへの対応方法
課題共有	難病指定の病名がなかなかつかず支援を中心に支えるものがすぐに定まらなかった	若年未診断かつ身体介護も要するケースへの在宅支援
課題共有	若年性認知症の診断と進行から、自身の居場所や役割を失う中での関わりや支援を考えるケース	職種が限定される若年性認知症の人の就労支援
課題共有	複合課題への対応	チーム支援後困難症例となったケースの把握
課題共有	長年引きこもり受診歴がなく、多くの診療科・医療機関との関わりが必要だったケース	ひきこもりと他疾患対応による長期化ケースの引き継ぎ
課題共有	支援拒否等で対応困難の方が施設入所となったケース	来所する対象者への自宅訪問によるアセスメントの重要性
課題共有	公営住宅建て替えに伴い、認知症症状が見えてきた方へのかかわり	公営団地の建て替えに伴う高齢者への影響
課題共有	遠隔地で保護された場合の本人確保について	遠隔地で保護された身寄りのない認知症の人の処遇
支援困難	本人の強い拒否によりサービスに繋がらないケース	チーム支援後にサービスが途切れたケースへの対応方法
支援困難	精神疾患の診断を受けたが、疾患受容ができない高齢者の支援	サービス拒否の精神疾患患者への継続支援手法
支援困難	定期的に会うことが難しく、救急要請をきっかけに最終的に医療保護入院となったケース	セルフネグレクトにおける情報収集とアプローチ手段
支援困難	夫が妻の介護を一人で抱え込みサービスに繋がらないケース	男性介護者の抱え込みに対する支援手法
支援困難	若年性認知症と診断され夫婦ともに認知症の受け入れ段階にある方の関わりについて	障がい受容が不十分な人の引き継ぎ先や引き継ぎ方法
支援困難	若年性認知症の兄と統合失調症の妹の家庭	キーパーソンの意思決定が不安定なケースへの対応方法

認知症初期集中支援推進事業における課題と対応について

令和4年度認知症初期集中支援推進事業にかかる第2回エリア別実務者会議症例報告まとめより抜粋

課題

各エリア会議 症例報告から見えてきた課題

サービス拒否と 引き継ぎ

- ・ 本人、家族の障がい受容支援
- ・ サービス未利用者の引き継ぎとフォロー

多様な家族支援

- ・ 家族、介護者、キーパーソン自身に課題
- ・ 家族間の関係性に課題

精神科受診連携

- ・ 他科受診より高い難易度
- ・ アウトリーチ支援機関がほぼない

身寄りのない 単身高齢者

- ・ 重症化したセルフネグレクト
- ・ 制度にのれない人の身上監護や金銭管理

チーム員・推進員の スキル向上

- ・ 認知症アセスメント手法
- ・ スーパーバイズ手法
- ・ 意思決定支援の手法
- ・ チーム員医師の役割

チームの役割の再周知

- ・ 連携機関への好事例紹介など
周知手法や周知内容の再検討